

from the world

世界の国から

# パキスタン・イスラム共和国

Islamic Republic of Pakistan



サジヤード・フサイン氏

パキスタン投資庁  
投資促進・マーケティング局 課長

Mr. Sajjad Hussain  
BOI Director (Investment & Marketing)

首都 イスラマバード  
面積 79.6万平方キロメートル  
(日本の約2倍)  
人口 2億777万人(2017年国勢調査)  
政体 連邦共和制  
元首 マムヌーン・フセイン大統領  
言語 ウルドゥー語(国語)、英語(公用語)  
通貨 パキスタン・ルピー



## 潜在的な市場規模と活気に満ちた親日国

### 地理的優位性と好調な経済

パキスタンは南西アジアに位置し、インド・中国・アフガニスタンと国境を接しています。日本から見るとヨーロッパやアフリカ、中東への入り口にも位置する重要な場所にあると言えます。また、人口約2億人を有する大国であるというだけでなく、中国や中東という巨大なマーケットとも関係が深いため、投資先として有望な国です。

経済状況もとても良く、近年は右肩上がりに伸びています。昨年のGDP成長率は5.3%で、今年目標の6%を達成できるのではないかと考えています。

来日は今回で3回目ですが、日本はとても好きな国で、来るたびに多くのことを学んでいます。滞在中は大阪でセミナーを行い、約50名の参加者にパキスタンのビジネス環境を紹介したほか、ビジネスマッチングイベントに出展し、約15の企業と面談しました。東京でも、既にパキスタンに進出済み、または進出を考えている日本企業とラウンドテーブル・

ミーティングを行ったほか、民間企業や関連機関との個別面談も実施し、自動車、電気、繊維など様々な分野の企業から好感触を得ました。

### 日本企業にとって恵まれたビジネス環境

パキスタンは大の親日国であり、国民の多くは日本の製品を高く評価しています。公用語が英語なのでビジネスに支障がなく、外資規制が非常に少ない点も魅力です。例えば、外資出資率100%の企業設立も可能ですし、資本・利益・配当等を本国へ自由に送金できます。税の免除など様々な優遇措置が受けられる経済特区もあります。

現在、自動車産業をはじめとする80社以上の日本企業がパキスタンへ進出していますが、現地での評判も非常に良く、また日本企業もパキスタンでのビジネスに満足していただいていると思います。電力事情も3~5年前と比べて格段に改善しており、数か月後には余剰電力も発生する見通しで、工場などが進出しやすい環境が整いつつあります。

産業としては自動車業界が今とても伸びています。ホンダ、スズキ、トヨタなどの各企業は1950年代からパキスタン



イスラマバードの街並み(写真提供:旅ブログ)

に進出して活躍していますが、2019年から他の外国企業の参入も決まっているので、今後は少し競争が激しくなるかもしれません。「ハラル」食材を使った食品・食品加工業、インフラ関連事業も伸びていますし、これからはIT関連にも大きな可能性があると思います。また、化学、電機、テキスタイルなどの分野でも技術力を持つ日本の企業の進出を期待しています。

### 日本企業へのメッセージ

日本のパキスタンへの投資は全体の2%程度で、CPEC(中国・パキスタン回廊)に投資している中国(投資全体の60%)など他の国と比較すると低い水準です。2億超の人口を有し、経済成長著しいパキスタンは市場としても潜在的な魅力に富んだ国だと思っています。BOIとしても全力でサポートさせていただきますので、多くの日本企業にぜひともパキスタンへ来ていただきたいと思っています。



ムルターンの時計塔(写真提供:旅ブログ)